国別開発協力方針　別紙

# 対モーリシャス共和国　事業展開計画

2021年 4月 現在

| 基本方針（大目標） | 持続的な開発･経済成長を支えるための支援 |
|---|---|

| 重点分野１（中目標） | 環境・気候変動対策・防災 |
|---|---|

**開発課題１－１（小目標）　環境・気候変動対策・防災**

【現状と課題】
アフリカ域内で比較的経済成長が進んでいるモーリシャスでは、持続的な開発・経済成長を支えるための環境コストへの配慮が課題となっている。同国は土地や水資源が限られた島嶼国であること、観光が重要な産業であること、また隣国マダガスカル同様に貴重な生態系を有していることから、環境保全に係る協力のニーズは高い。特に海面上昇や熱帯低気圧、降雨パターンの変動などの異常気象に対して脆弱であり、国民の資産・資源を守る防災対策が求められている。

【開発課題への対応方針】
我が国の環境・気候変動対策・防災分野の知見・技術を活用し、同国の同分野政策に成果が反映できるよう、案件間の連携を図りながら、効果的な協力プログラムを運営実施する。

| 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 2020年度以前 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 支援額（億円） | SDGs | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・気候変動対策・防災プログラム | ・モーリシャス政府の推進する気候変動対策を支援する。<br>・環境対策として、下水道の整備および観光資源・海洋環境保全等の協力を行う。 | グラン・ベ地域下水処理施設整備事業 | 有償 | ■ | ■ | ■ | | | | 70.12 | 6, 11, 14 | |
| | | 気象観測及び予警報能力向上プロジェクト | 技プロ | ■ | ■ | ■ | | | | 2.90 | 11, 13 | |
| | | 経済社会開発計画（防災機材） | 無償 | ■ | ■ | ■ | | | | 6.00 | 11, 13 | |
| | | 防災プラットフォーム | 第三国研修 | ■ | ■ | ■ | | | | | 11, 13 | |

**その他**

| 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 2020年度以前 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 支援額（億円） | SDGs | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| その他 | | インド洋アフリカ諸国におけるサンゴ礁漁業に依存する漁業コミュニティの強靭性の向上を通じた生計、食料安全保障及び海洋保安の強化計画（FAO連携） | 無償 | ■ | ■ | ■ | | | | 4.75 | 8, 14 | |
| | | 経済社会開発計画（高速警備艇供与） | 無償 | ■ | ■ | | | | | 3.00 | 16 | |
| | | 東南部アフリカ・インド洋地域における海上連結性拡大プロジェクト | マルチ | ■ | ■ | | | | | 0.96 | 8 | インド洋委員会(IOC) |
| | | 経済社会開発計画（海難防止） | 無償 | ▪ | ▪ | ▪ | | | | 6.00 | 16 | |
| | | 経済社会開発計画（保健・医療機材供与） | 無償 | ■ | ■ | | | | | 3.00 | 3 | |
| | | COVID-19への包摂的・分野横断的な社会経済対応プロジェクト | マルチ | ■ | ■ | | | | | 1.00 | 3, 9, 14 | 国連開発計画（UNDP） |
| | | 新型コロナウィルス感染症危機対応緊急支援借款 | 有償 | ■ | | | | | | 300.00 | 3,17 | |
| | | デジタル化と能力向上を通じた強靭性支援プロジェクト | マルチ | ■ | ■ | | | | | 1.30 | 3, 9 | 国連開発計画（UNDP） |
| | | 保健分野の草の根人間の安全保障無償資金協力 | 草の根無償 | ■ | ■ | | | | | 0.10 | 3 | |
| | | 新興国金融行政研修 | 金融庁技協 | - | ▪ | ▪ | - | - | - | | 9,10,17 | |

【凡例】　「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「基礎情報調査」（＝基礎情報収集・確認調査）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「ＪＯＣＶ」（＝JICA海外協力隊）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・ＪＩＣＡ以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「SDGs調査」（＝途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査）、「無償」（＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力）、「食糧援助」（＝食糧援助）、「一般文化」（＝一般文化無償資金協力）、「草の根文化」（＝草の根文化無償資金協力）、「緊急無償」（＝緊急無償資金協力）、「日本ＮＧＯ」（＝日本ＮＧＯ連携無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償資金協力）、「有償」（＝円借款、海外投融資）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協力スキーム）、「基礎調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」）、「案件化調査」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」）、「普及・実証・ビジネス化事業」（＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」、実線「――――」（＝実施期間）、破線「－－－－」（＝実施予定期間）　※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf